

館山市広報『だん暖たてやま』 市民意識調査アンケート結果

調査期間／令和 6 年11月20日（水）から12月27日（金）

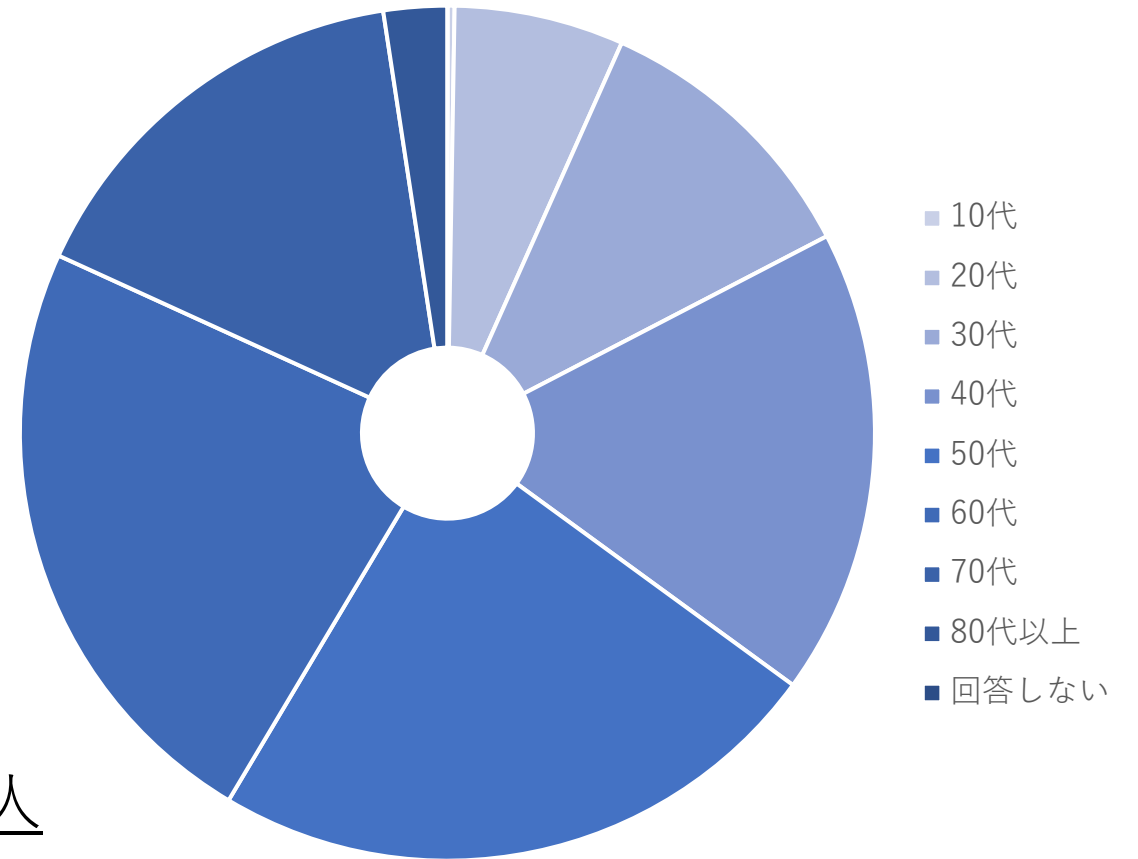
回答数／374件（WEB回答328件、紙回答46件）

質問項目数／全11問（自由記述欄含む）

1. 回答者の年代

年代	回答数
• 10代	1人
• 20代	24人
• 30代	40人
• 40代	66人
• 50代	88人
• 60代	87人
• 70代	59人
• 80代以上	9人
• 回答しない	0人

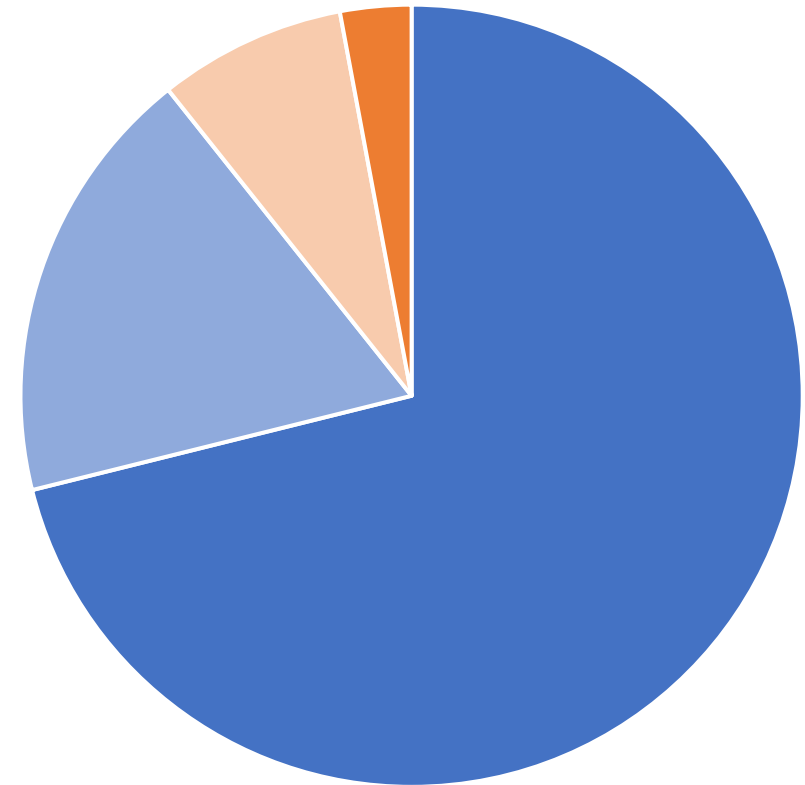
合計374人



2. 市広報紙を読む頻度

- 毎号読んでいます 266人
- たまに読んでいます 68人
- ほとんど読んだことがない . . 29人
- 読んだことがない 11人

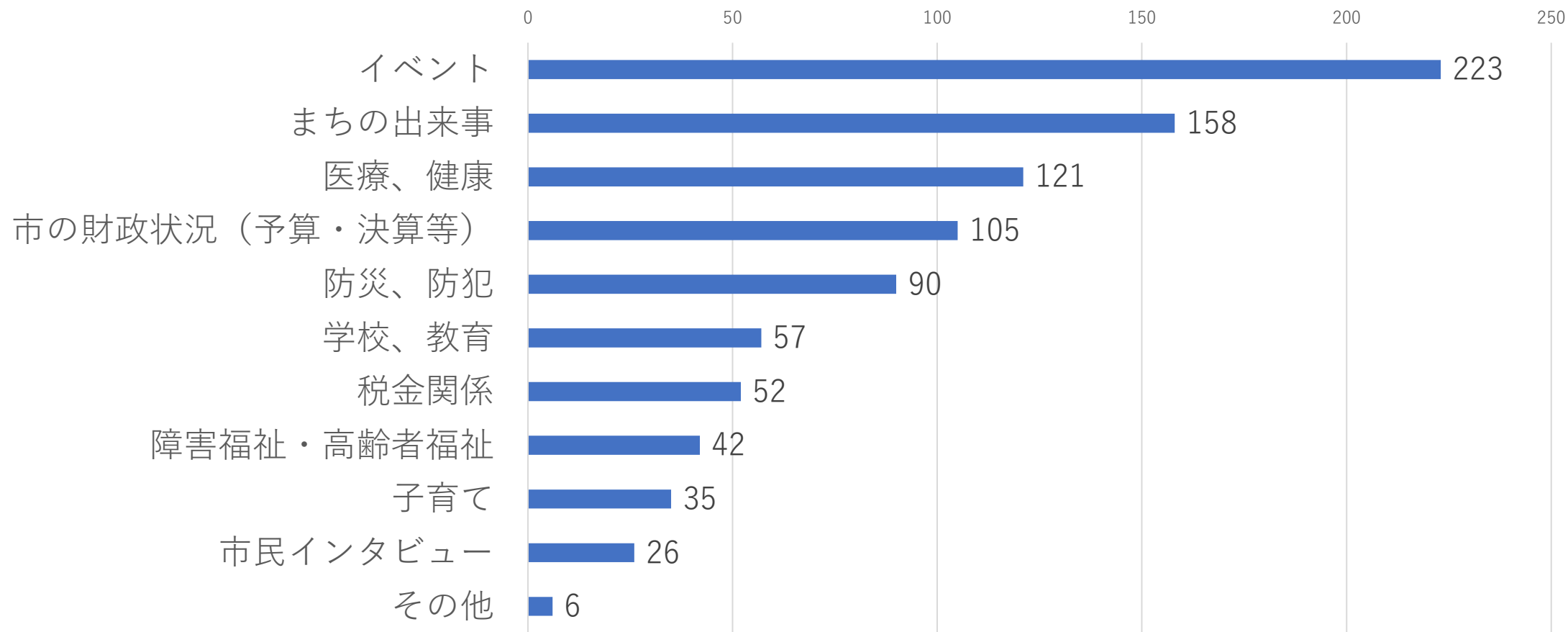
今回、普段広報紙を読まない方からも回答をいただくことができた。



■ 毎号読んでいます ■ たまに読んでいます
■ ほとんど読んだことがない ■ 読んだことがない

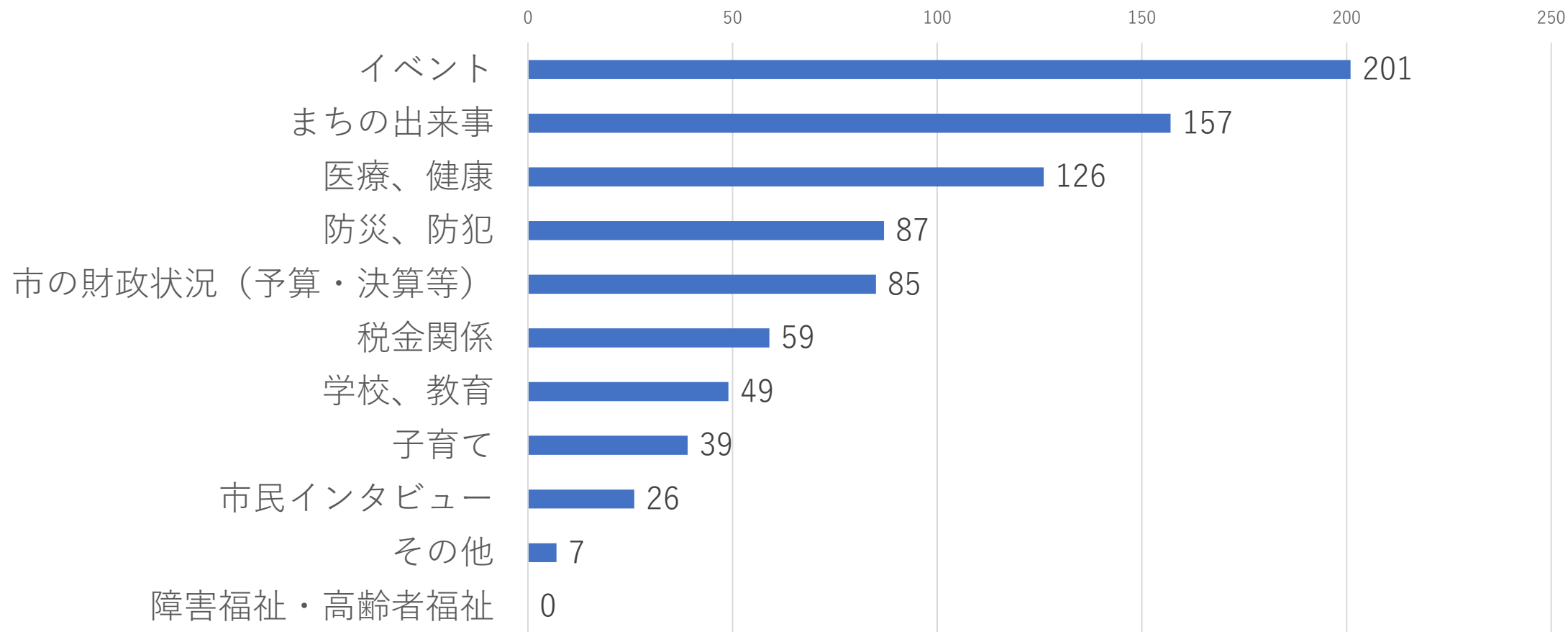
3-1. 市広報紙でよく読む内容（最大3つ）

回答対象・問2で「毎号読んでいます」、「たまに読んでいます」を選択した方



3-2. 市広報紙で読みたい・知りたい内容 (最大3つ)

回答対象・問2で「毎号読んでいます」、「たまに読んでいます」を選択した方

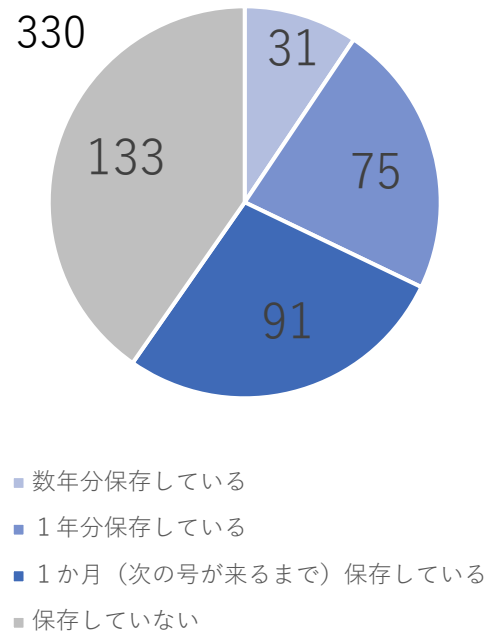


4. 市広報紙の保存について

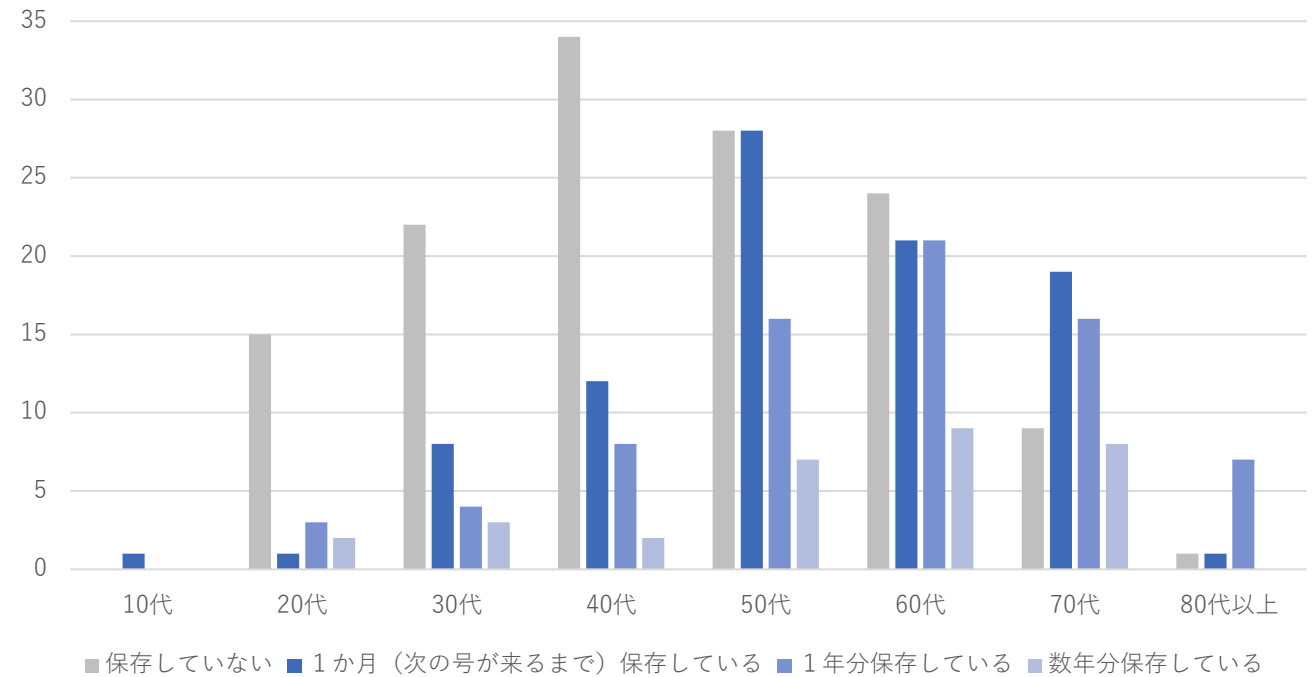
回答対象・問2で「毎号読んでいる」、「たまに読んでいる」を選択した方

広報紙の保存について

回答数・330



年代別

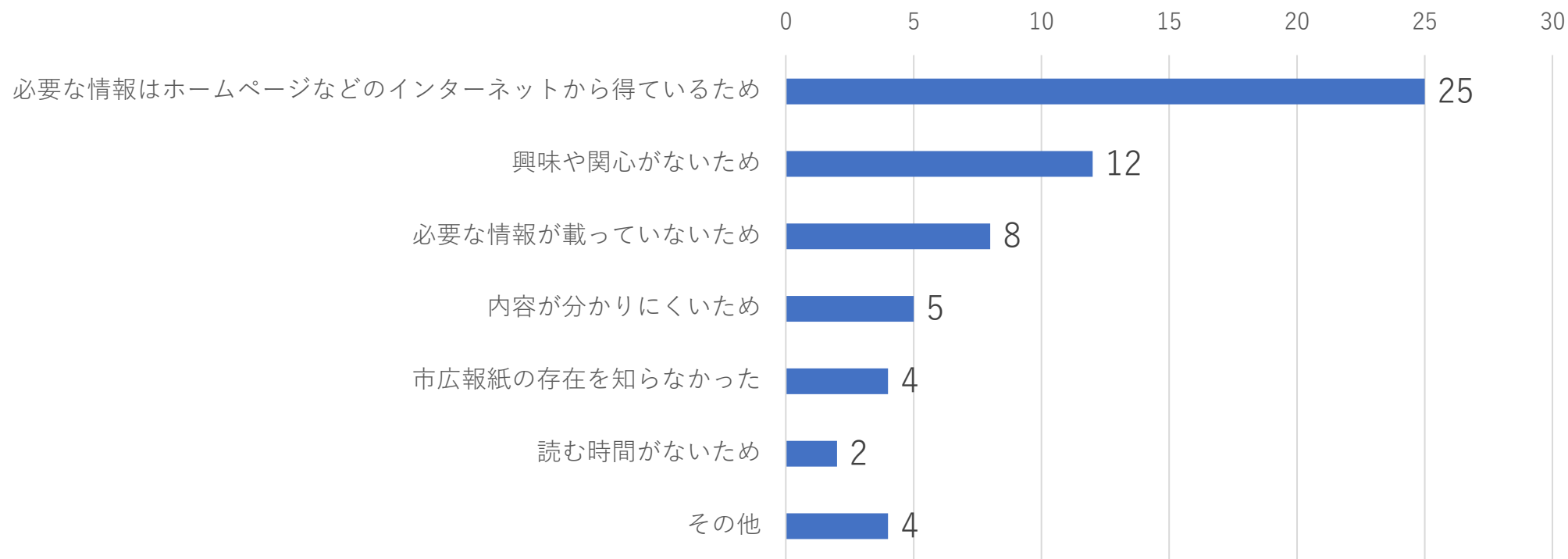


約4割が保存していない。60代以上で保存する割合が増加。

5. 市広報紙を読んだことがない理由

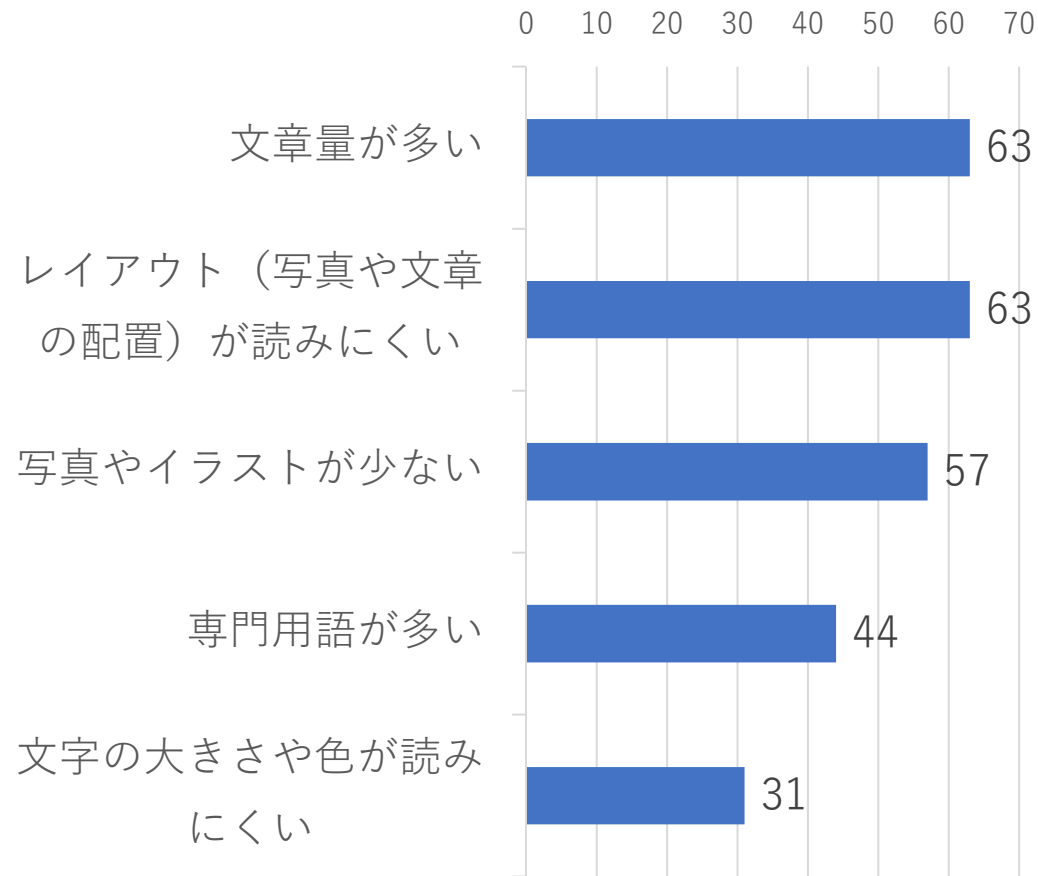
(複数選択可)

回答対象・問2で「ほとんど読んだことが無い」、「読んだことが無い」を選択した方



その他回答・自宅に広報紙が届かない など

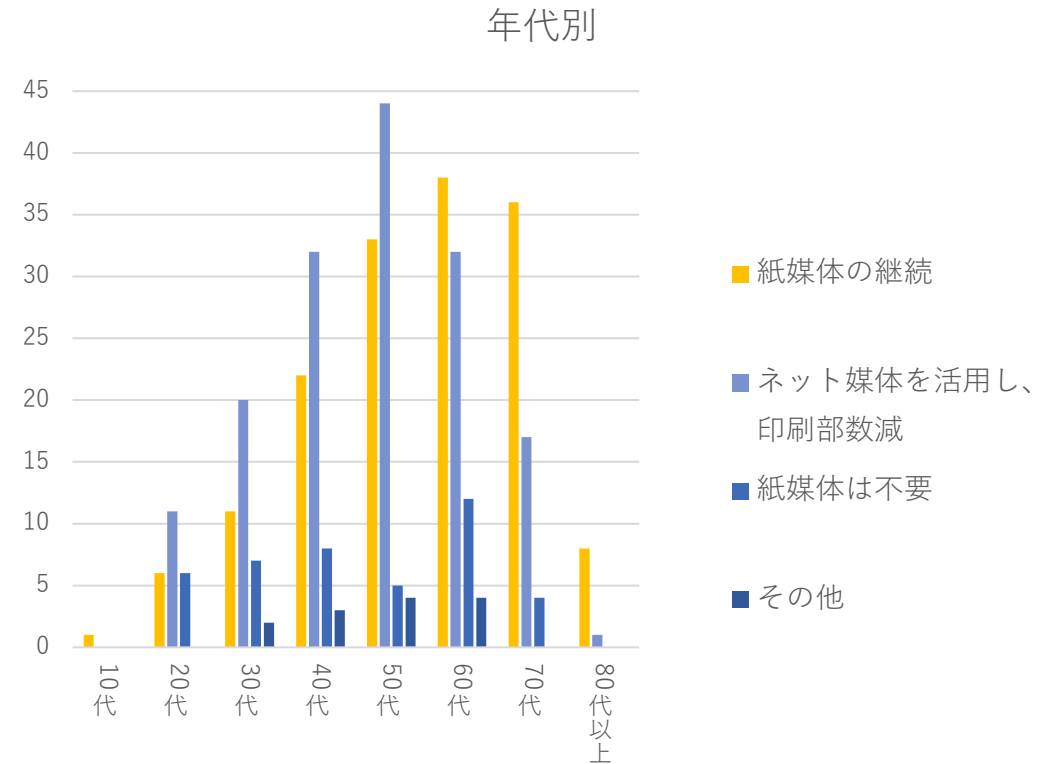
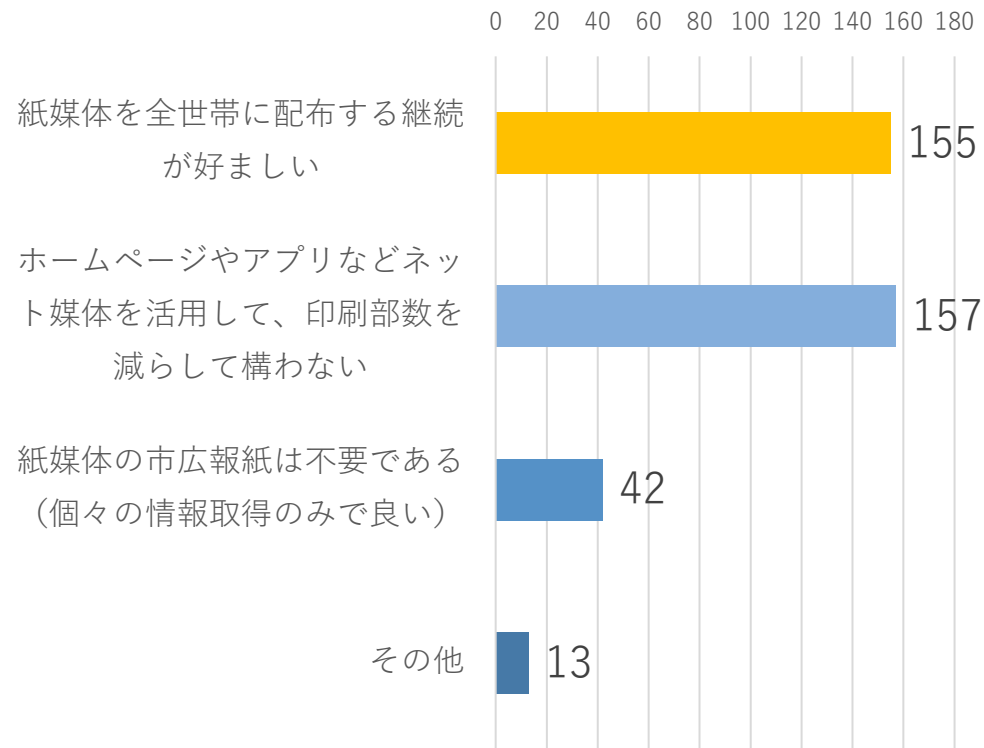
6. 市広報紙の改善してほしいところ



その他 自由記入欄抜粋

- ・ 回覧を中止してほしい
- ・ ネットで見られるようにして、配布は無しにしてほしい
- ・ 市民のいろいろな活動（異なる世代や分野のもの）を紹介してほしい
- ・ 年2～3回の発行でよい
- ・ とじてない（製本や綴じ方に改善を希望）

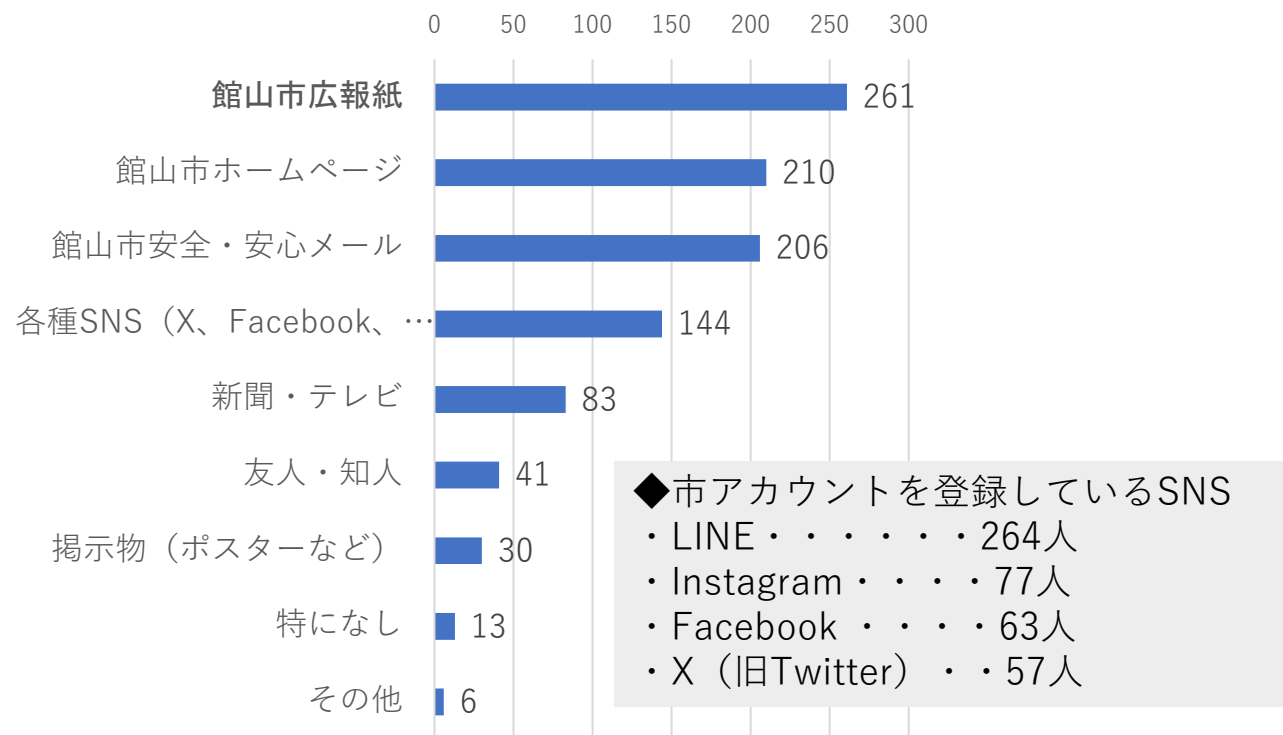
7. 市広報紙の発行について



紙媒体を継続する声が多いが、60代以下を中心に部数減を望む声がある。

8. 市政情報の入手方法（複数選択可）

9. 市アカウントを登録しているSNS



（参考）年齢階層別インターネット利用率



（出典）総務省「令和6年度版 情報通信白書」図表Ⅱ-1-11-3

広報紙以外のネット媒体を使って情報収集する方も多い。
 国の調査を見ると60代までの世代で約9割ネットを利用している。

10. その他 市広報紙に関する意見（要約）

- ページ数が多すぎるため、住民に必要な情報を取捨選択してほしい。WEB版のPDFは読みにくい。
- 二次元コードを活用し、ネット誘導することで紙面の情報量を抑え、コスト削減を図るべき。
- ネットで情報取得が可能な時代だが、デマの影響を防ぐため、市が紙で広報紙を作成・配布することは重要。
- 健康情報や定期検診、公民館行事について、より分かりやすく・参加しやすい形で知らせてほしい。
- インターネット版の広報は、検索しないと見つけれず周知が難しいため、紙媒体の必要性を再検討するべき。
- 配布が遅いため、イベント情報がタイムリーに届かないことがある。
- 制度の説明を高齢者や理解に時間がかかる人向けに分かりやすくし、見やすいフォント・色を使用してほしい。
- カラー印刷をやめてページ数を減らし、イラストやレイアウトにこだわるのではなく、コスパ重視にしてほしい。
- 紙質をもっとコスト削減できる素材に変更し、広報紙の継続発行を可能にしてほしい。
- 広報紙の製本・綴じ方を改善してほしい。
- 表紙デザインを楽しみにしている市民も多いので、魅力ある紙面づくりを続けてほしい。
- 回覧板制度が面倒なので廃止してほしい。